

仙台白百合女子大学 課外活動に関するガイドライン

大学キャンパス内における活動を再開するためには、感染リスクを可能な限り低減することが必要です。下表の通り、BCPLレベルに合わせた感染対策を実行することで感染リスクを抑え、できることからキャンパス内での活動の活性化を目指しましょう。

本学では2020度の後期から対面授業が始まっておりますが、課外活動については、承認された場合のみ認めるとの通達を出しています。BCPLレベルが0になるまでは、常日頃から「三密」を避ける、マスク着用、ソーシャル・ディスタンスの実施などの新生活様式を守ってください。また、課外活動を希望する団体は下記要項をよく読んで手続きしてください。クラスター発生等の環境を作らないよう慎重な行動を求めます。

また、ワクチンの普及により、今後徐々に生活様式が通常に戻る事が予想されます。ただ、そのような状況になっても、変異株の出現やリバウンドの発生など、再びパンデミックに陥ってしまう可能性も十分考えられます。BCPLレベルが0になっても油断せず、体調管理や感染予防などに留意してください。

BCPLレベルに対応した課外活動について

BCPLレベル	0	1・2	3・4・5
課外活動の行動指針	通常	感染拡大防止対策を十分徹底させた上で、事前申請により、一部の課外活動を許可することができる。	対面による活動は内外問わず、全面禁止とする。
申請書類	特になし	<ul style="list-style-type: none"> ①「課外活動願(新型コロナウイルス感染症対策用)」1週間前まで、活動日ごとに提出。顧問印が必要。 ②「行動記録票」・「自己管理表」窓口に提出 ③「課外活動報告書(新型コロナウイルス感染症対策用)」 ④「課外活動 感染予防チェックリスト」 ※オンラインによる活動が可能な団体はオンラインでの実施が望ましい。 ※対策面で不安のある活動については安全衛生委員会で検討が必要な場合がある。	全面禁止
活動前	行動制限はなしとしているが、自己の体調管理や感染予防には留意すること。	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>各自体調管理を行い、毎日「行動記録票」・「自己管理表」を記録する。 <input type="checkbox"/>当日1号館1階に設置されているサーマルカメラで検温する。 <input type="checkbox"/>37.2℃以上の発熱等の症状がみられる場合は参加を見合わせ、自宅で休養させる。 <input type="checkbox"/>活動前に手指の消毒をする。 	全面禁止
活動中	行動制限はなしとしているが、自己の体調管理や感染予防には留意すること。	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>なるべく個人での活動とし、少人数で実施する場合は十分な身体的距離を確保できる場所で実施する。 <input type="checkbox"/>大人数で、呼気が激しくなるような運動、大声を出す活動は避ける。 <input type="checkbox"/>屋内で実施する場合は、こまめな換気、手洗い、消毒、手が触れた箇所の消毒を徹底する。 <input type="checkbox"/>部室等は短時間の利用にとどめ、一斉の利用は避ける。 <input type="checkbox"/>用具等は使いまわししない。 <input type="checkbox"/>飲食しながらの活動は避ける。水分補給が必要な場合、回し飲みはしない。 	全面禁止
活動後	行動制限はなしとしているが、自己の体調管理や感染予防には留意すること。	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>「課外活動報告書」「課外活動 感染予防チェックリスト」(指定書式)を提出してもらう。 <input type="checkbox"/>活動の後に手指の消毒をする。 <input type="checkbox"/>終了後、すみやかに帰宅する。 	全面禁止
運動部の活動について	行動制限はなしとしているが、自己の体調管理や感染予防には留意すること。	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>運動不足気味の学生もいると考えられるため、怪我防止には十分注意する。 <input type="checkbox"/>気温が高い日などは、熱中症に注意すること。体育館など屋内で実施する必要がある場合は、特に呼気が激しくなるような運動は避けること。 <input type="checkbox"/>マスク着用の必要はないが、感染リスクを避けるため、間隔を十分確保する。 <input type="checkbox"/>体育館等を利用する場合は、ドアを広く開け、こまめな換気や消毒液の使用など、感染拡大防止のための防護措置等を実施する。 <input type="checkbox"/>健康・安全の確保のため、学生だけに任せるのではなく、顧問等が活動状況を把握しておく。 	全面禁止